

「気候変動監視レポート2013」の公表について

気象庁では、気候、海洋、大気環境の各分野の観測や監視、解析結果をとりまとめた「気候変動監視レポート」を毎年公表しています。今般、当該分野における2013年の状況やこれまでの長期的な変化傾向について、「気候変動監視レポート2013」として取りまとめましたので、本日、気象庁ホームページで公表します。

本年のレポートでは、顕著な事例として、社会的にも大きな影響をもたらした2012/2013年冬の北日本～西日本及び東アジア北部の低温、2013年夏の日本の極端な天候についての解析結果をまとめるとともに、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第5次評価報告書の内容に触れるなど最新の科学的な情報・知見を掲載しております。

主な掲載内容は別紙をご覧ください。また、本レポートの全文は気象庁ホームページ上の「各種データ・資料」の「地球環境・気候」からご覧いただけます。

(レポートのURL: <http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/monitor/index.html>)

< 「気候変動監視レポート2013」構成 >

第1章 2013年の気候

(世界や日本の天候・異常気象、冬の北～西日本及び東アジア北部の低温、夏の日本の極端な天候など)

第2章 気候変動

(気温や降水量の長期変化傾向、さくらの開花日の経年変化、海洋・海氷、北半球の積雪域の変動など)

第3章 地球環境の変動

(温室効果ガス、海洋酸性化、オゾン層・紫外線の変動など)

< 本件に関する問い合わせ先 >

気象庁 地球環境・海洋部 地球環境業務課
電話：03 - 3212 - 8341 (内線 4225)